



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

仮事務所：品川区豊町6-12-6 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

「転居先がない」「なぜさらにマンションが」

再開発への疑問や怒り次々



9月16日、再開発問題学習会を行い、83名が参加。区内で広がる超高層の再開発マンション事業への疑問や怒りが露わになりました。冒頭、私がこれまでの区内でのオフィスやマンションの再開発事業を

▲多くの方に参加頂きました



◀戸越公園駅周辺の再開発イメージ

紹介し、今度は戸越公園駅が狙われていると現在の状況を報告しました。NPO法人の遠藤講師は再開発によって開発業者が儲ける仕組みになっており、地権者は土地を8〜9割とられ、補助金はマンションなどを安く売るために利用されていると指摘しました。

今回示された戸越公園駅周辺まちづくりビジョン基本計画編については補助29号線道路と鉄道立体化を位置づけ再開発を進めるものだと言明しました。

会場からは「再開発に巻き込まれ転居先が見つからない」「人口減少時代にマンションが立ち並ぶのはなぜか」「周辺住民は強風のため屋根が飛ばされるなど被害を受けている」など様々な発言がありました。

まちづくりに一石を投じる機会になりました。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、34歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

再開発問題学習会で出された意見

- ・再開発を進める区の狙いは何か。
- ・武蔵小山で進められている計画は開発業者がでたらめ。何を聞いても時期が来たら答えるというばかりで答えない。工事中に部材が落下する事故もあった。誰も賛成していないのに勝手なこと言っている。高齢者は工事期間が長すぎて戻りたくても戻れない。
- ・西品川の地域で計画が持ち上がった時に反対の会をつくって止めさせた。近くの計画で同じ広さの住宅を確保しようとしたら地権者でも300万払わないといけないということをおもんに知らせた。
- ・再開発に生活保護など弱者が関わる場合、行政が住まいを確保すべき。
- ・再開発をする時は保育園や学校など周りの状況も考えるべき。超高層ビルによる気象への影響など総合的に判断することが必要。
- ・報告のあったところ以外にも計画がある。住民が知らないうちに進められる。道路も超高層マンションも計画から住民の声を届けることが大切。

再開発でなく福祉向上へ
 これまでも大井町から始まり、大崎、五反田、西大井、目黒、武蔵小山と進められ、ついには戸越公園駅にも広がっています。これまで区内の再開発につき、超高層再開発を止め、税金の使い方を考え直しましょう。

込まれてきた補助金も税金投入は約1400億円に上ります。一方で障害者福祉は23区で最低レベルです。税金の使い方が間違っています。

教育カフェ

9月29日(日)

午後1時30分～

荏原第五地域センター 和室

教育の不安や疑問について一緒に考えませんか。誰でも参加できます。



無料

法律相談

10月15日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史仮事務所 豊町6-12-6
 お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
 できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674
 場所が変わりましたので間違えないようご注意下さい。

日本共産党